



2023年1月20日

各 位

上場会社名 株式会社ダブルユー
代表者名 代表取締役 肖 俊偉
(コード番号：7683 東証グロース)
問合せ先 取締役 丁 蘊
(TEL. 03-5423-3601)

株式会社ミッシュマッシュの吸収合併（簡易合併）契約締結に関するお知らせ

当社は、2022年9月28日に公表いたしました「事業取得のための吸収合併に関する基本合意のお知らせ」にてお知らせしましたとおり、本日開催した取締役会において、当社を存続会社とし、株式会社玉屋の100%子会社である株式会社ミッシュマッシュを消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」といいます。）を行うことを決議し、本日付で吸収合併契約（以下、「本合併契約」といいます。）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本合併は、株式会社ミッシュマッシュの株主総会の承認を条件としています。当社においては、会社法第796条第2項に定める簡易合併に該当するため、株主総会による本合併に係る合併契約の承認を得ることなく行います。

1. 本合併の目的

当社グループは、駅ビル・大型ショッピングモールを中心に国内165店舗、海外20店舗、ECサイト17店舗を展開する婦人靴ブランドとして、品質・価格・デザイン・サービスのバランスの良さで創業以来20年間に渡り多くの若い女性から高い評価を頂いております。

当社は、これまで「婦人」と「靴」をキーワードとして成長して参りました。2020年5月には、「靴」に注目し、株式会社卑弥呼を子会社化して企業再生を成功させました。今回、当社は、「婦人」に注目し、MISCH MASCH(ミッシュマッシュ)事業を取得することを決定いたしました。

MISCH MASCH(ミッシュマッシュ)事業は、全国有数の駅ビルや地下街を中心に20店舗、ECサイト5店舗を展開し、「女性の柔らかさを感じさせるフェミニンスタイル」をブランドイメージとして圧倒的な知名度で顧客拡大に取り組んでいます。ブランドとしては当社とほぼ同じ21年の歴史の中で、20代を中心とした女性のONとOFFを彩るオリジナルデザイン商品をお求めやすい価格帯で提案しています。

当社の商品は、自社で企画開発し海外のパートナー工場で生産、仕入を行っております。商品開発の特徴としては、商品企画担当者が販売スタッフとして店頭で接客を行い直接お客様の声を聞き、同じ担当者が検品検査スタッフとして海外生産工場を巡回し直接指導を行っていることです。これらの商品企画開発から生産品質管理、販売までを分業化せず一貫通貫で担当することで、当社オリジナルの魅力的な商品の提供を可能にしております。

今回、当社は、株式会社ミッシュマッシュを吸収合併し、マーチャндаイズの再構成を図ることにより、更なる事業拡大が可能になるものと考えております。当社の商圏における顧客層については、MISCH MASCH(ミッシュマッシュ)事業と共通の駅ビル及びショッピングモールへの出店が多く、親和性があるため、顧客層の拡大及びシナジー効果の創出が期待できます。

当社のこれまで培ってきた経営資源や生産仕入、海外子会社による品質管理、流通システム、EC販売といった事業の強み、そしてMISCH MASCH(ミッシュマッシュ)ブランドとノウハウを活用し、これまで以上にお

客様に支持されるファッション小売り企業となれるようにグループ一体となり更なる成長を図ってまいります。

2. 本合併について

(1) 合併の日程

(1) 吸収合併の取締役会決議日	2023年1月20日
(2) 吸収合併の契約締結日	2023年1月20日
(3) 債権者異議申述公告日	2023年1月23日(予定)
(4) 臨時株主総会決議日(株式会社ミッシュマッシュ)	2023年2月8日(予定)
(5) 効力発生日	2023年3月1日(予定)
(6) 金銭交付日	2023年3月1日(予定)

※本合併は、当社においては会社法第796条第2項に定める簡易合併に該当し、吸収合併承認の株主総会の決議を経ずに吸収合併を行う前提であることを想定しております。

(2) 合併の方式

当社を吸収合併存続会社、株式会社ミッシュマッシュを吸収合併消滅会社とする吸収合併の方式により実施いたします。

(3) 合併交付金

金 1億円

ただし、設立年月日である2022年12月1日から合併の効力発生日である2023年3月1日(予定)の前日までにおける株式会社ミッシュマッシュの最終損益によって変動する可能性があります。

(4) 当該組織再編に伴う消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 当該組織再編に係る割当ての内容の根拠等

当社は、公正性・妥当性を期すため、第三者機関として株式会社レキシコムを選定し、デューデリジェンスを実施いたしました。その上で、本合併に用いられる合併交付金の算定にあたって、独立した第三者算定機関に対する株式価値算定等の依頼を行っておりませんが、株式会社玉屋との間で慎重に協議・検討を重ねた結果、MISCH MASCH(ミッシュマッシュ)事業における換金性を有する資産や、本合併後の当社事業とのシナジー効果等を多面的に評価し、当社及び株式会社玉屋との間で合理的と認められる範囲での合併交付金の決定に至りました。

(6) 上場廃止となる見込み及びその事由

本合併により当社が上場廃止となる見込みはありません。

(7) 公正性を担保するための措置

本合併において、当該組織再編に係る公正性を担保する必要があると判断される事情は存在しないため、特段の措置は講じておりません。

(8) 利益相反を回避するための措置

本合併において、当該組織再編に係る利益相反関係を回避する必要があると判断される事情は存在しないため、特段の措置は講じておりません。

3. 当該組織再編の当事会社の概要（2023年1月20日時点）

	吸収合併存続会社			吸収合併消滅会社
(1) 名称	株式会社ダブルユー			株式会社ミッシュマッシュ
(2) 所在地	東京都渋谷区恵比寿1丁目20番18号			大阪府大阪市中央区難波一丁目8番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 肖 俊偉			代表取締役 竹田 篤史
(4) 事業内容	婦人靴の企画・販売			婦人服の企画・販売
(5) 資本金	16億5,075万円			1,000万円
(6) 設立年月日	2002年2月12日			2022年12月1日
(7) 発行済株式数	4,763,540株			1株
(8) 決算期	1月31日			2月28日
(9) 従業員数	213人			87人
(10) 主要取引先	株式会社ルミネ			株式会社ルミネ
(11) 主要取引銀行	みずほ銀行			三菱UFJ銀行
(12) 大株主及び持株比率	肖 俊偉：66.2%			株式会社玉屋：100%
(13) 当事会社間の関係				
資本関係	該当事項はありません。			
人的関係	該当事項はありません。			
取引関係	該当事項はありません。			
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。			
(14) 最近3年間の財政状態及び経営成績				
	株式会社ダブルユー（連結）			株式会社ミッシュマッシュ
決算期	2020年 1月期	2021年 1月期	2022年 1月期	
連結純資産	7,130	7,343	8,113	
連結総資産	9,278	9,006	10,069	
1株当たり連結純資産(円)	1,502.23	1,545.00	1,704.32	
連結売上高	14,009	13,081	15,701	(注) 1
連結営業利益	1,364	300	1,037	(注) 2
連結経常利益	1,390	311	1,031	
親会社株主に帰属する当期純利益	757	239	707	
1株当たり連結当期純利益(円)	181.13	50.52	148.76	
1株当たり配当金(円)	—	—	25	

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(注) 1. 最近3年間の財政状態及び経営成績につきましては、株式会社ミッシュマッシュは、新設分割により設立された会社であるため、確定した最終事業年度はありません。なお、株式会社玉屋の会社分割後の株式会社ミッシュマッシュの財政状態及び経営成績は、第三者算定機関として選任した株式会社レキシコムから取得した財務状況調査報告書上の想定数値において、純資産77百万円、総資産379百万円（ともに2022年2月28日）、売上高1,753百万円、経常利益△365百万円（ともに2021年3月1日から2022年2月28日）の規模であります。

(注) 2. 設立年月日における株式会社ミッシュマッシュの財政状態は、純資産216百万円、総資産581百万円（ともに2022年12月1日）です。

4. 当該組織再編後の状況

本合併後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。なお、本合併後の当社の純資産及び総資産の金額については、現時点では未定であります。

5. 会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第 21 号 2019 年 1 月 16 日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 10 号 2019 年 1 月 16 日）に定める取得に該当するため、パーチェス法を適用することを前提としております。なお、本合併に伴い、当社の連結財務諸表上、のれん（又は負ののれん）が発生する見込みですが、当該金額については、現時点では未定であります。

6. 今後の見通し

本件は当期の連結業績に与える影響はありませんが、来期より連結業績に反映する予定のため、本合併後の連結業績の見通しにつきましては、吸収合併存続会社である当社の決算短信発表での開示を予定しております。

以 上